

メランコリックな怪物

長田弘



晶文社

メランコリックな怪物^{かいぶつ}

一九七九年五月二五日発行

著者 長田弘

発行者 株式会社晶文社

東京都千代田区外神田二丁二二

電話東京二五五局四五〇一（代表）・四五〇三（編集）

振替東京六一六二七九九

堀内印刷・美行製本

© 1979 Hiroshi Osada

本書の内容の一部あるいは全部を無断で複写複製（コピー）することは、法律で認められた場合を除き、著者および出版社の権利の侵害となりますので、その場合には予め小社あて許諾を求めてください。

（検印廃止）落丁・乱丁本はお取替えいたします

著者について

長田弘（おさだ・ひろし）

一九三九年生まれ。早大卒。詩人。著書に詩集『言葉殺人事件』『われら新鮮な旅人』『エッセー』『アウシュヴィッツへの旅』『見よ、旅人よ』『物語エッセー』『ねこに未来はない』『サラダの日々』などがある。

メランコリックな怪物

長田弘



晶文社

Illustrations :
JOSÉ GUADALUPE POSADA
(1852—1913)



おれが人間だったら——おれは
顔、唇、眼、掌、肩、頬のやくざな寄せ集め
ボリス・バステルナーク

メランコリックな怪物 9

どこへも 11

子供たちのように

1 探した 14

2 叫んだ 17

3 ロング・ロング・アゴウ 20

4 黙った 22

5 ほくは借りを返さなければならない 24

こわれる 28

夢の階級 30

消息 32

わが詩法 34

植字エブルス 36

冬のアイオワでユージンがぼくにいった 39

阿蘇 42

認知 44

真夜中暮らし 48

戦い暮らし 51

黙否 54

パベル 56

真実にいっばいくわせろ 58

見知らぬ男 60

監獄ロック 63

他人の土地で 67

子守歌のための詩 71

カナダ・インディアンの青年がいった 75

はじまり、はじまり 78

夢暮らし 81

生まれるまえに死んだ子供 97

メランコリックな肖像 107

おぼえたこと 109

ラヴレター 111

海をみにゆこう 113

ディヌのことを憶えている 116

平林敏彦によびかける詩 121

言ってください 127

幼いアジテーターのように 133

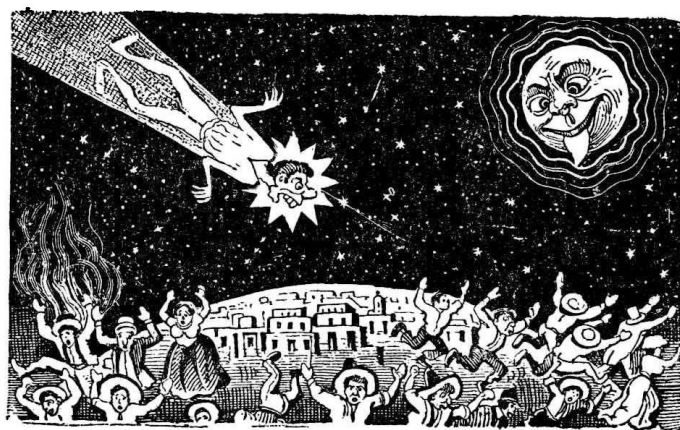
野村修「ペンヤミンの生涯」によせて 139

ある男の話 142

金髪のジュニー 145

「メランコリックな怪物」へのコメントール 中野孝次 150

メランコリックな怪物



どこへも

どこへも出発しなかった。

手も叩かなかった、成熟した死の高みも知らなかった。

ぼくらは、寒さからできていた。

夜明けの隠喩をいやしんで、

やせた鷺鳥のように飢えていた。

歴史は取沙汰みたいにみえた。

ゴールを決めそこねたホッケー選手のように

放心して、敵のコートに立っていた。

性急に話し、性急に経験した。

流行は流行し、徒党は徒党した。

いつだって修辭が詭弁を棒引きにした。

誰れにもみえない場所で、誰れかが

変節と苦惱とを大急ぎで撚りあわせていた。

そして、人生を小金のようにくすねていた。

つまり、ぼくらは絶望に受けがよかった。

つまり、ぼくらは好んで世間と世界を混同した。

革命もドリルヒヒもみたことがなかった。

そのようにして、ぼくはここにいた。

ほかには、何ひとつありはしなかった。

老いるなら、立ったまま老いるのだ。

誰れも、どこへも出発しなかった。

ヤハットナ、眉一本うごかさなかった。

泣くべきかわらうべきか、誰れひとり口を割らなかった。

子供たちのように

1 探した

不滅なものは信用できない

おお、ぼくの友だち、絶望が不当に傷つけたさびしい少年
つらいぼくの夢はおわったさ

ながあい不信がかがやかす

荒廃した郊外いっぱいひろがった夢

夢はいつだっておわったあとで夢みられる夢だぼくは
もうすでに出立したんだこのぼくのなか

みえっこないほど深いセンチメンタル・ジャーニー

知らなかったかい？ ぼくは

終始いつだって誰れでもなかった誰れひとり

ほんとうにぼくたちの誰れであることもできなかった

それでもはじめるしきやなかったんだよ、ぼく

狂気と永遠を区別することから

純潔と性的倒錯を熱烈に混ぜあわせることから

恐怖だけが純粹だなんて！ くそっ

そいつをかんがえると口惜しくなってきた

ああ、ほんと泣きだしちまいたくなるぐらいなんだなあ

ぼくがおしまいまで巧くやってゆけないかどうか

そんなことぼくがどうして知るもんか

ちえ、どんないろしてるんだろ？ ぼくの

怒りや焦りやたままない衝動のいろ？

ぼくの知らないぼくの青春の

皮膚のいろって、え？